

SEINEN
KYO

2012
no, 8

news

2013, 7, 10

選挙特集号(青年向け)その③

全日本赤十字労働組合連合会
青年協議会

国民が主人公の新しい政治を作るのは?今でしょ!!

7月21日は参議院選挙の投票日

争点③ アベノミクス

昨年の総選挙で、再び政権与党となった自民党安倍首相は、デフレ脱却を掲げ、アベノミクスを始動しました。

アベノミクスとは

アベノミクスは、古い自民党政治の復活で、内容は「金融緩和」「大規模公共事業」「規制緩和」等、既に失敗が明らかな政策ばかりです。

規制緩和の危険な中身

「規制緩和」では、財界の言いなりとなり、労働法制の改悪を狙っており、「解雇の自由化」や残業代を支払わなくてすむ「ホワイトカラーエグゼンプション」を導入しようとしています。雇用が不安定な若者が望む、「雇用の安定」や「雇用環境の改善」等と真逆を目指す、アベノミクスは、今度の選挙で断固として食い止めなければなりません。

金融緩和で得をするのは

アベノミクスでは「無制限の金融緩和」として市場に資金を投入しています。しかしその資金は設備投資や人件費にはならず株式投資等の投機的に使われ、株価が上がり円安になっていますが、その結果物価が上がりました。しかし、国民所得は上がりず、家計の負担増に繋がりました。株価が上がり得をしたのは、一部の大手企業と資産家だけです。ブラック企業として有名なユニクロの柳井社長は、アベノミクスによる株価値上がりにより、短期間で資産を4000億円以上増やしました。しかし、それだけ儲けていても労働者に還元する事はなく、逆にユニクロは入社後3年以内に50%以上が離職、休職者の42%がうつ病等の精神疾患になるといふ、劣悪な労働環境で、労働者を低賃金で使い捨てています。



政治の流れを変えるあなたの一票

参議院選挙は、3年毎に半数が改選します。なので次回参院選は2016年です。また衆議院選挙は、前回は2012年12月に実施したので、解散がなければ次回衆院選は2016年です。地方選挙や解散を除けば次の国政選挙は3年後になります。なので今回の選挙で、自民党の暴走をストップさせておかなければ、この3年間の間に自民党は、憲法改悪やTPP参加等の悪政を次々と実施し、アベノミクスにより若者の雇用は破壊され、物価上昇による負担増に加えて消費税増税で、国民生活は益々苦しくなり、一部の大手企業ばかりが儲かり、格差が拡大してしまいます。皆さん今回の選挙には、必ず投票に行き、政治の流れを変えましょう。